

東温スタディに参加された一般住民の皆様へ

愛媛大学医学部では、東温スタディに参加された一般住民の方を対象として、生活習慣病の頻度やその危険因子を明らかにするために研究を行っております。2014年度以降東温スタディに参加され、本研究の対象者に該当する可能性がある方で、保存された尿や診療情報等を下記の研究に利用されることをご希望されない場合は、末尾に記載しました【お問い合わせ先】までご連絡ください。情報の登録が終了し、解析を開始した後に協力取り消しを申し出られた場合は、本研究への協力を取り消すことができなくなります。なお、本研究への協力を拒否されても、今後不利益が生じることはありません。

【研究課題名】糖尿病患者の尿中コレステロール、ApoA1 及び ApoE の臨床評価

【研究機関】愛媛大学大学院医学系研究科糖尿病内科学講座

【研究責任者】高田康徳（糖尿病内科学講座 准教授）

【本研究の目的と意義】

現在、日本の透析患者数の増加が社会問題となっています。糖尿病性腎症は、末期になるまで症状がなく、発見が遅れるため、尿の検査による早期発見が重要です。最近、糖尿病患者さんの腎臓の機能が悪くなると、尿の中にコレステロールなどの脂質が漏れ出てくることが報告されています。さらに、他の腎臓病でも同様な現象が報告されています。そこで、本研究では、糖尿病や慢性腎臓病における4つの脂質(尿中 ApoA1、尿中 ApoE、尿中コレステロール、尿中短鎖脂肪酸)の尿中排泄量と腎機能の悪化に関連があるかどうか、また、尿中短鎖脂肪酸と関連する腸内細菌叢環境のマーカである血中、尿中トリメチルアミン-N-オキシド、リポポリサッカライド結合蛋白と尿中短鎖脂肪酸の関連を調べることにより早期腎症の予測因子として有用かどうかを検討します。

2014年度以降東温スタディに参加され、尿を採取した一般住民の方を対象に尿中の腎機能悪化に関連する新規の検査候補物質を明らかにすることを目的として本研究を実施いたします。

【研究対象者・該当期間】

2014年度以降東温スタディに参加された方を対象としています。

【研究の方法】

検査会社であるシスメックス株式会社にて、保存尿、血液をサンプルに腎機能低下に関連する新規の検査候補物質を測定し、その結果を愛媛大学で解析します。

【資料/情報の管理方法】

本研究では、愛媛大学大学院糖尿病内科学に設置したデータベースに、匿名化（注1）された情報を登録します。

【個人情報の取扱い】

情報は、お名前、住所、電話番号など、個人を特定できる情報は削除し、匿名化した状態で登録、保管、解析されます。登録された情報は当院にて厳重な管理のもと保管されます。本研究の研究成果は学会等で発表を予定していますが、個人が特定される形で情報が公開されることはありません。

<試料・情報の管理責任者> 愛媛大学大学院医学系研究科糖尿病内科学講座・高田康德

【本研究の実施の承認について】

今回の研究の実施にあたっては、愛媛大学医学部附属病院の倫理審査委員会の審査を経て、研究機関の長より許可を受けています。

【本研究の利益相反】

本研究は、シスメックス株式会社との共同研究であり、研究資金は、シスメックス株式会社からの研究経費を資金源とし実施しますが、シスメックス株式会社は、データの解析および結果の解釈に関与しません。

（注1）匿名化とは、誰のデータであるかわからないように研究番号を付して処理した状態を指します。

【お問い合わせ先】

愛媛大学大学院医学系研究科糖尿病内科学・高田康德

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5647